


分野	22	高齢福祉・障がい福祉
施策	222	介護等への支援の充実
5年後の目標		認知症や介護等への理解が進み、介護が必要な人や家族が住み慣れた地域で最期まで安心して生活できている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	認知症施策総合推進事業		会計	款	項	目	18,713,957	高齢介護課
			介護	3	3	2		
事業の概要								
初期集中支援事業や認知症対応型カフェ事業等の充実を図り、認知症の早期発見から症状に応じた適切な対応まで可能となる体制の構築に努めます。また、サポーター養成講座やおでかけあんしん見守り事業の拡充により、認知症の人を地域で見守り、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整備します。								

平成28年度の取組							
D (取組)	指標	認知症サポーター養成講座受講者数(累計)				単位	人
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
		目標	4,800	5,600	6,400	7,200	8,000
	3,263(平成26年度)	実績	5,128				
<p>・認知症初期集中支援チームとして新規18ケースを支援しました。認知症対応型カフェは新たに4か所設置しました。認知症サポーター養成講座は36回実施し、受講者は延べ881人でした。地域住民や小中学生、消防署員など幅広い世代や職種の方の受講がありました。おでかけあんしん見守り事業では、事前登録者に新たにBluetooth発信器を無料で配布しました。行方不明者検索体験を2地区で開催しました。</p>							
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成28年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
			—	—	—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<p>・認知症初期集中支援チームが、認知症の人と家族のファーストサポートに取り組み、医療介護が連携し、生活環境等を整える体制が構築されています。認知症対応型カフェは市内に8か所設置され、認知症の人と家族が気軽に通い、相談等できる場所が整備されてきています。認知症について正しく理解し、地域で見守る認知症サポーターが年間800人以上増えており、認知症の人と家族を地域で支える人が増えています。</p>		
	課題等	<p>・施策をより多くの市民に周知していくこと、若年性認知症の人に対する支援や環境を整備していくことが課題です。</p>			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当
	<p>対応策等</p> <p>・自治会や老人会、教育機関へ働きかけて認知症サポーター養成講座を実施し、幅広い世代の方が認知症に対する理解を深められるよう取り組みます。商店や事業所の協力を得て、認知症高齢者等の見守り体制を強化します。広域検索体験や地域での検索体験を通じて、事業の周知、啓発を図ります。</p>

分野	22	高齢福祉・障がい福祉
施策	222	介護等への支援の充実
5年後の目標		認知症や介護等への理解が進み、介護が必要な人や家族が住み慣れた地域で最期まで安心して生活できている。

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課
	民間老人福祉施設等整備・運営支援事業	会計	款	項	目	18,831,000	高齢介護課
		一般	3	1	2		
事業の概要							
一人暮らしや高齢者世帯の増加などにより、安心して住み慣れた地域で生活が継続できる環境整備が求められており、また家族の介護を理由とした介護離職が課題となっていることから、特別養護老人ホームなどの施設整備を計画的に促進します。また、事業所が安定かつ適切な運営を行えるよう支援します。							

平成28年度の取組							
D (取組)	指標	特別養護老人ホーム数				単位	施設
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	5(平成26年度)	目標	6	7	※平成29年度策定の次期介護保険事業計画に基づく指標設定		—
		実績	6				
<ul style="list-style-type: none"> ・定員30名の施設が一ヶ所開設されました。 ・3事業所に民間老人ホーム等施設振興補助金を交付し、事業所が安定かつ適切に運営できるよう支援を行いました。 							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成28年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応頁
		—	—	
達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・第6期介護保険事業計画に基づいて、特別養護老人ホームの開設数を設定し、おおむね計画通りに遂行しています。	
	課題等	・依然として特別養護老人ホーム入所の待機者は存在しており、今後も待機者数が減少するよう計画的に取り組む必要があります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動) 1: 計画通りに進めることが適当	・特別養護老人ホームの需要等も踏まえ、次期介護保険事業計画を策定します。